

ガーデンシティみしまの推進

（花と緑のおもてなし空間創造事業、清住緑地拡張整備事業）

アナ： 『市長が語る 2018 三島』 第7回の今日は、ガーデンシティみしま推進事業の中から「花と緑のおもてなし空間創造事業」と「清住緑地拡張整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： まず、「ガーデンシティみしま」について教えてください。

市長： 「ガーデンシティみしま」の代表的な取り組みといたしましては、これまでも多くの市民の皆様をはじめ自治会、NPO、企業の皆様と協働で進め、四季を通して一年中花が咲き誇る、全国でも類を見ない中心市街地の街並み整備を進めているところです。

近年では、市民の皆様をはじめ市外から訪れた多くの方々からも「三島の街が明るく華やかできれいになった。」とお褒めの言葉をいただくようになりました。昨年は、この取り組みが評価され、静岡県景観賞において『ガーデンシティみしまのシンボルロード「花飾り」と「袖看板」』が最優秀賞の県知事賞を受賞いたしました。

アナ： 大通りと芝町通りの花飾りはいつ見ても、大変綺麗ですね。3月に景観賞の記念碑が市役所中央町別館の花壇に設置されて、まさしくガーデンシティみしまのシンボルロードですね。それでは「花と緑のおもてなし空間創造事業」について教えてください。

市長： この事業は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が伊豆市で開催されることが決定し、世界各地からの来訪者へ本市の魅力をアピールするため、また、花と緑による地域景観の質向上を実現するために、三島駅周辺にフォトスポット等を新たに設置して、緑化を施したおもてなし空間を創出する事業です。

アナ： その事業の内容を詳しく教えてください。

市長： 「東京オリンピック・パラリンピック」等の国際イベントや、JR6社と共同で実施する大型観光キャンペーンである「静岡デスティネーションキャンペーン」、更に今月26日、27日に開催する「第6回 みしま花のまちフェア」のイベントに合わせて、三島駅南口に「芝町通りに連動する花飾り」や「大型のオブジェによるフォトスポット」を設置します。周囲の景観と調和した質の高い緑化を施したおもてなし空間を演出しますので、ご期待ください。

アナ： とても華やかな景観になりそうですね。来訪された方が、SNS等で三島市の

魅力を世界中に発信していただけることも期待できるのではないのでしょうか。

私も楽しみにしています。

次に「清住緑地拡張整備事業」についてお伺いします。

市長： 現在、三島市、清水町、静岡県、グラウンドワーク三島、並びに丸池かんがい用水土地改良区とともに設立した「三島市、清水町“水の郷”構想検討会」において、JR三島駅から楽寿園、源兵衛川、境川、清住緑地、丸池、柿田川公園などの憩いの場を拠点として、それらを結ぶ回遊ルートの整備を目指し、各拠点の魅力を高めるための整備方針を検討しております。それに合わせて、現在の清住緑地に隣接します綾部養魚場跡地における緑地の拡張整備を進めていこうとするものです。

アナ： その拡張整備の内容を詳しく教えてくださいませんか。

市長： これまでに、河川海岸環境整備事業により、静岡県とともに湧水ポイント確認のための土砂掘削を実施してまいりました。今年度は土地開発公社が先行取得しています緑地拡張部分の用地の買戻しを行うとともに、地元自治会や周辺住民の皆様を交えたワークショップの中でご意見、ご要望を伺いながら、多くの方々に親しまれる緑地とするべく、整備計画の策定及び実施設計を行っていきたいと考えています。

アナ： この整備によって、また一つ新たなガーデンシティの回遊ルートができ、更に多くの市民が三島の街をウォーキングされることでしょうかね。

市長： そうですね。

花飾り事業も緑地整備も、ガーデンシティの推進だけではなくスマートウェルネスとの相乗効果が期待できますので、積極的に取り組み、市民の皆様の健康づくりにもつなげていきたいと考えております。

アナ： これからも、「美しく品格のあるまち」そして「“健幸”なまち」にふさわしい三島市となるような取り組みを期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。